

2015 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
研究所長名	大窪 健之

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2015 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

①**文化遺産防災技術研究部会**:主に技術開発に関する研究課題を実施した。(1)高山市伝統木造建築物の耐震化マニュアルによる改修法を開発。(2)火災発生情報の地域共有システムを福祉センサーと共に実用化。(3)市民による日常利用と維持管理が可能な高機能型消火栓を開発。(4)タイ王国アユタヤで仏塔の傾斜原因調査と沈下シミュレーションを実施。そして、(5)世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」における斜面崩壊メカニズムの解明を行った。

②**歴史災害研究部会**:歴史災害を分析し過去の減災の知恵を現代に活かす研究を推進した。具体的には、(1)東日本大震災の津波被災地にみられる緊急避難施設としての寺院の役割を明らかにしたほか、(2)東日本大震災に関する地理空間情報の整備とこれを利用した震災リスク評価の研究を実施し、(4)南三陸町の復興まちづくりに資する祭礼の記憶地図に関する質的 GIS 研究を国際研修の取り組みとも連携させながら継続した。また、(5)京都日出新聞にもとづく明治後期の災害データベースを完成させ、京都の被災史の情報基盤を拡充した。

③**歴史都市防災計画研究部会**:歴史と文化を守る防災まちづくり計画に必要な研究を推進した。具体的には、(1)妙心寺、東福寺などにおいて、周辺地域も含んだ歴史防災まちづくり計画を策定。(2)与謝野町加悦伝建地区の防災計画に関する実施プランの検討、(3)京都市中心部や東山地区を対象とした災害発生状況に応じた交通流動の推定と観光客の避難誘導経路の選定を行った。加えて、(3)滋賀県で水害リスク情報や共助による対応方法を現代のコミュニティに伝える水害履歴調査を行った。

④**文化遺産における人災・獣害研究部会**:社寺へのアライグマ等の獣害被害と監視装置の高度化に関する研究を実施した。具体的には(1)京都府下で実施されたアライグマの獣害調査結果を GIS 環境で分析し、被害の実態と周辺環境との関連を明らかにし、また、ハクビシンによる被害拡大の実態についても継続調査を行った。(2)不審行動を自動検出する自動監視装置(社寺みまもりシステム)のために、ツリー構造グラフによる検出方法を提案し、高い精度で検出できる可能性を確かめた。

⑤**歴史都市・文化遺産の継承と保全のための政策研究部会**:文化遺産(資産)の保全・継承にあたって不可欠な(1)財政の政策科学的検討として、文化遺産保全の予算計画、維持管理などの実態調査を進めるとともに、防災に関連する経済評価手法を開発した。また、(2)観光と防災と両立させる政策研究課題として、多様な主体を含むコミュニティ防災の方策や、観光客を考慮した文化遺産周辺地域の防災政策研究を実施した。

⑥**国際展開・社会連携 研究支援プログラム**:(1)第 10 回となる UNESCO Chair 国際研修では、166 名の応募者より研修者 15 名を選出し、主に地震と洪水に焦点を当てた内容で実施した。フォローアップ事業として、年度はじめに発生したゴルカ地震の被災地であるネパール・カトマンズにおいて、地域研修実施の際のサポートを行った。また、国際研修の神戸の復興に関する講義の e-learning 教材を作成した。他に、第 13 回立命館大学・タマサート大学共同ワークショップ等の国際連携の事業を実施した。またフィールドでの人材育成と社会還元を目的に、市民組織「明日の京都～文化遺産プラットフォーム」との連携を推進し、清水寺で防災に関する集中講義を行った。文化遺産の災害脆弱性評価に必要な基礎データとなる GIS アーカイブを管理・配信する GIS のウェブポータルを試作した。

⑦**研究所のその他主催事業**:年次事業「第 9 回・歴史都市防災シンポジウム」(7/4)を開催し、39 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 140 人の参加があった。公開セミナーとして、「アライグマシンポジウム 2015」(関西野生生物研究所と共催)を開催したほか、「立命館土曜講座」では「歴史文化都市京都の人災・獣害」をテーマにシリーズで市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.9」や「京都歴史災害研究 第 17 号」を刊行。「第 9 回地域の安全安心マップコンテスト」では 47 作品(122 名)の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられた。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	大窪 健之	理工学部 都市システム工学科	教授
運営委員	鈴木 祥之	衣笠総合研究機構	教授
	中谷 友樹	文学部 地域研究学域	教授
	板谷 直子	衣笠総合研究機構	准教授
	小川 圭一	理工学部 都市システム工学科	准教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部 政策科学科	教授
	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	教授
	豊田 祐輔	政策科学部 政策科学科	准教授
	深川 良一	理工学部 都市システム工学科	教授
	矢野 桂司	文学部 地域研究学域	教授
	山崎 有恒	文学部 地域研究学域	教授
	吉越 昭久	文学部 地域研究学域	特任教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	青柳 憲昌	理工学部 建築都市デザイン学科	講師
	泉 知論	理工学部 電子情報工学科	准教授
	伊津野 和行	理工学部 都市システム工学科	教授
	片平 博文	文学部 地域研究学域	教授
	川合 誠	情報理工学部 情報コミュニケーション学科	特任教授
	里深 好文	理工学部 都市システム工学科	教授
	高橋 学	文学部 地域研究学域	教授
	武田 史朗	理工学部 建築都市デザイン学科	教授
	塚口 博司	理工学部 都市システム工学科	教授
	林 倫子	理工学部 都市システム工学科	助教
	福水 洋平	理工学部 電気電子工学科	准教授
	藤本 将光	理工学部 都市システム工学科	助教
	宗本 晋作	理工学部 建築都市デザイン学科	准教授
	Rohit JIGYASU	衣笠総合研究機構	教授
	冷泉 為人	衣笠総合研究機構	教授
	山内 寛紀	理工学部 電子情報工学科	特任教授
	山崎 正史	理工学部 建築都市デザイン学科	特任教授
吉富 信太	理工学部 建築都市デザイン学科	教授	
専門研究員・研究員	崔 明姫	衣笠総合研究機構	専門研究員
	石田 優子	衣笠総合研究機構	専門研究員
	金 度源	衣笠総合研究機構	専門研究員
	米島 万有子	衣笠総合研究機構	専門研究員
	赤澤 史頭	総合科学技術研究機構	専門研究員
	平岡 伸隆	総合科学技術研究機構	専門研究員

学内の若手研究者		山口 純	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	
		尾崎 正志	衣笠総合研究機構	研究員	
	補助研究員・リサーチアシスタント	谷端 郷	文学研究科	博士課程後期課程 5 回生	
	博士前期・後期課程院生		飯塚 隆藤	文学研究科	博士課程後期課程 6 回生
			荒川 昭治	理工学研究科	博士課程後期課程 5 回生
			酒井 宏平	政策科学研究科	博士課程後期課程 2 回生
			本多 彩夏	政策科学研究科	博士課程後期課程 2 回生
			谷崎 友紀	文学研究科	博士課程後期課程 2 回生
			郭 凱泓	文学研究科	博士課程後期課程 2 回生
			佐藤 弘隆	文学研究科	博士課程後期課程 1 回生
			大矢 綾香	理工学研究科	博士課程後期課程 1 回生
			永田 匠	文学研究科	博士課程前期課程 3 回生
			小泉 慶太郎	文学研究科	博士課程前期課程 3 回生
			稲村 雄一郎	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			国島 岳大	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			宮田 雄大	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			山口 純平	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			原 匡史	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			松尾 眞吾	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			常木 佳奈	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			今村 聡	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			前田 一馬	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
			松尾 眞吾	文学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			仲 雅光	文学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			真田 遥平	文学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			大和田 智彦	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			杉山 貴教	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			田中 宏樹	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			吉田 篤司	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			吉田 恭祐	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			有光 悠紀	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			飯田 悟	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
			飯田 哲也	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	木林 幹	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生		
	角 宏一	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生		
	董 大超	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生		
学振特別研究員 (PD・RPD)		上杉 昌也	日本学術振興会	特別研究員	
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)		本多 健一	文学部	非常勤講師	
		河角(赤石) 直美	文学部	非常勤講師	
		村上 晴澄	文学研究科	研修生	
客員協力研究員		高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター 緑化事業部	次長	
		田中 哮義	京都大学	名誉教授	
		森 清顕	清水寺	執事補	
		高橋 暁	ユネスコ太平洋州事務所	文化担当官	
		福島 信夫	株式会社中蔵 特別顧問	特別顧問	
		福山 大典	株式会社アイエス工業所		

	樋本 圭佑	独立行政法人建築研究所	
	岡田 篤正	日本活断層学会	会長
	川崎 一郎	京都大学	名誉教授
	北原 糸子		客員協力研究員
	高橋 春成	奈良大学文学部	教授
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	諏訪 浩	東京大学空間情報科学研究センター	客員研究員
	水田 哲生	公益財団法人大学コンソーシアム京都 シンクタンク事業	プロジェクト・マネージャー
	和泉 潤	名古屋産業大学環境情報ビジネス学部	特任教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学現代国際学部	講師
	大槻 知史	高知大学 総合科学系 地域協働教育学部門	准教授
	石橋 健一	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	教授
	梶 秀樹	筑波大学	名誉教授
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	教授
	Chaweewan DENPAIBOON	タマサート大学建築学部	准教授
	高橋 彰	公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター	職員
	桐村 喬	東京大学空間情報科学研究センター	助教
	松本 文子	神戸大学 自然科学系先端融合研究環 重点研究部	助教
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅袋屋 京都市指定有形文化財柳井家住宅	研究員 プロパティマネージャー
	矢尾田 清幸	総合地球環境学研究所	プロジェクト研究員
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	安本 晋也	東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻	特任助教
	花岡 和聖	東北大学 災害科学国際研究所	助教
	埴淵 知哉	中京大学国際教養学部	准教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室	
	岸 祐介	首都大学東京 都市環境学部 都市環境学科都市基盤環境コース	助教
	SHAKYA Lata	独立行政法人日本学術振興会	外国人特別研究員
	佐藤 英佑	株式会社佐藤木材	
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	古川 愛子	京都大学大学院 地球環境学堂	准教授
	金 玫淑	日本ミクニヤ株式会社	
	益田 兼房	独立行政法人国立文化財機構本部 文化財防災ネットワーク推進室	研究員
	小椋 純一	京都精華大学 人文学部	教授
	村中 亮夫	北海学園大学 人文学部	准教授
	James HAWORTH	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン 土木・環境・測量工学部	講師
	Paola RIZZI	サッサリ大学 建築学部	教授

	大岡 優	独立行政法人 国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校	助教
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	Joseph Allan KING	ICCROM	Director of Site Unit
	Giovanni BOCCARDI	UNESCO 世界遺産センター	Focal Point Officer
研究所・センター構成員 計 122 名 (うち学内の若手研究者 計 43 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016 年 3 月 31 日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	片平博文	「平安京と賀茂祭の風景 —路頭の賑わい—」	単著	2015 年	立命館大学地理学教室編 『観光の地理学』、文理閣	片平博文	112-149
2	鈴木祥之	加子母明治座耐震改修調査研究報告書	共著	2015 年 9 月	加子母明治座耐震改修検討委員会	鈴木祥之	
3	中谷友樹	都市環境と健康	分担執筆	2015 年 4 月	川上憲人・橋本英樹・近藤尚己編『社会と健康：健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ』、東京大学出版会	井上 茂・中谷 友樹	175-192
4	中谷友樹	外国人旅行者の行動空間に関する地理的可視化—京都市を対象とした Twitter および GPS 調査資料の解析—	分担執筆	2015 年 7 月	立命館大学地理学教室編 『観光の地理学』文理閣		84-110
5	中谷友樹	京都市内で認知された強姦・強制わいせつ事件の時空間的集中と近接反復被害	分担執筆	2015 年 8 月	京都府警察犯罪抑止対策調査研究会「性犯罪対策研究部会報告書 性犯罪の現状を踏まえて（資料編）」		34-45
6	矢野桂司	GIS ベースの観光産業関連統計の活用に関する試論—京都市の経済センサスを中心に—	単著	2015 年 7 月	立命館大学地理学教室編 『観光の地理学』文理閣	矢野桂司	62-83
7	矢野桂司	京町家の空き家化	単著	2016 年 3 月	由井義通・久保倫子・西山弘泰編『都市の空き家問題 なぜ？どうする？』古今書院		34-41
8	吉越昭久	土地利用でみるアジアの都市化と自然環境	分担執筆	2016 年 3 月	筑波大学出版会	山下重紀郎	1-18, 111-131
9	Rohit JIGYASU,	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management	共著	2016 年 2 月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Rohit JIGYASU, Naoko Ushitani ITAYA, Participants of ITC2015	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳憲昌	「江戸時代末期から明治時代における飛騨高山の町家の「梁組」の変遷」	共著	2015 年 4 月	『日本建築学会計画系論文集』(710 号)	青柳憲昌	953-962	有
2	青柳憲昌	「国有林野法による京都府社寺上地林の境内編入に示	共著	2015 年 7 月	『歴史都市防災論文集』(9 号)	青柳憲昌・山口祐史	81-88	有

		された『風致林野』の防災的意義						
3	青柳憲昌	「旧堂本印象邸の建設経緯と意匠的特徴」	単著	2015年9月	日本建築学会大会学術講演集梗概集	青柳憲昌	663-664	無
4	青柳憲昌	「江戸時代における滋賀県草津市芦浦村の集落の変容—明治期作成『地籍図』と天正検地帳の比較より」	共著	2015年9月	日本建築学会大会学術講演集梗概集	小西佐枝・青柳憲昌	99-100	無
5	青柳憲昌	「国有林野法による京都府社寺上地林の境内編入と古社寺保存」	共著	2015年9月	日本建築学会大会学術講演集梗概集	山口祐史・青柳憲昌	855-856	無
6	青柳憲昌	「鉄筋コンクリート造による平安王朝美の再現—吉田五十八の五島美術館にみる“平安調”の建築意匠」	単著	2016年2月	『LIXIL eye』第10号	青柳憲昌	22-23	無
7	泉知論	ハフ空間上でのクラスタリングとマッチングによる甲骨文字の認識	共著	2015年9月	画像電子学会誌(44巻4号), pp627-636	孟林, 泉知論, 小柳滋		有
8	泉知論	Recognition of Oracular Bone Inscriptions Using Template Matching	共著	2016年2月	Int. J. of Computer Theory and Engineering(8巻1号), pp.53-57	Lin Meng, Yoshiyuki Fujikawa, Atsushi Ochiai, Tomonori Izumi, Katsuhiko Yamazaki		有
9	板谷(牛谷)直子	「記憶地図」による無形の文化遺産の現状と継承の課題—宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9巻)	板谷(牛谷)直子・中谷友樹・前田一馬・谷端郷・平岡善浩	73-80	有
10	大窪健之	文化遺産を火災から守る消防設備の老朽化と耐震面の課題に関する研究—京都府・滋賀県の重要文化財・国宝建造物を対象として—	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9巻)	湯浅卓・大窪健之・金度源・林倫子	93-100	有
11	大窪健之	延焼火災から伝統的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備の開発～実大模型実験を通じた延焼抑止効果の評価～	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9巻)	大窪健之、中藪知孝	25-32	有
12	大窪健之	Research on Potentiality of Historic Water Resources and Open Spaces for Supporting Disaster Mitigation Activities in case of Earthquake in Rome	単著	2015年11月	XXXIII Giornata dell'Ambiente: "Resilienza delle città d'arte ai terremoti"(Accademia Nazionale dei Lincei 巻)	Takeyuki Okubo		有
13	大窪健之	Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in History of Japanese Architectures and Historic Cities	単著	2016年3月	Ref. No.: CULHER-D-14-00355R3, Journal of Cultural Heritage	Takeyuki Okubo		有
14	大窪健之	地理的条件と住民の認知が避難開始時間に与える影響に関する研究～高知県室戸市吉良川伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2015年5月	土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集、Vol. 57、	住谷喜信・大窪健之・金度源	IV-59	無
15	大窪健之	地域防災力を高める市民消火栓の継続的な日常利用促進に関する研究：高機能型消火栓の開発と設置環境に即した利用方法の提案に着目して	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9号)	中村圭佑・大窪健之・金度源・林倫子	215-222	無
16	小川圭一	外国人観光客を対象とした京都市における観光資源としての文化遺産の評価	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集 Vol.9	小川圭一、漆谷友香、安隆浩	pp.143-150	有
17	小川圭一	論文題目に基づく歴史都市防災に関する研究活動の傾	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集 Vol.9	小川圭一、高野隼也、安隆浩	pp.183-190	有

		向分析						
18	鐘ヶ江秀彦	A Participatory Evacuation Map Making Towards Sustainable Urban Heritage Kotagede, Yogyakarta	共著	2015年7月	Forum Geografi(29巻1号)	Hizbaron R. Dyah, Sudibyakto, Jati Raditya, Kanegae Kanegae, Toyoda Yusuke	11-22	有
19	里深好文	Case study of debris flow disaster scenario caused by torrential rain on Kiyomizudera, Kyoto, Japan-using Hyper KANAKO syste	共著	2016年2月	Journal of Mountain Science, 13(2)	K. NAKATANI, S. Hayami, Y. SATOFUKA & T. MIZUYAMA	193-202	有
20	里深好文	天然ダムの形成条件や河道条件が決壊規模に及ぼす影響	共著	2016年3月	砂防学会誌(68巻6号)	中谷加奈・長谷川祐治・里深好文・水山高久	24-30	有
21	里深好文	天然ダムの堆積高及び堆積長に関する簡易的な予測手法とその適用性	共著	2016年3月	砂防学会誌(68巻6号)	原田紹臣・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	47-51	有
22	里深好文	道路盛土横断排水構造物の高機能化に関する研究	共著	2016年3月	土木学会論文集B1(水工学)(72巻4号)	原田紹臣・里深好文・水山高久他	I_871-I_876	有
23	里深好文	橋脚における木除杭及び芥留杭の機能に関する基礎的な実験	共著	2016年3月	土木学会論文集B1(水工学)(72巻4号)	原田紹臣・内藤秀弥・里深好文・水山高久・小杉賢一朗	I_301-I_306	有
24	里深好文	土石流先頭部における大粒子の集積過程に関する基礎的な実験	共著	2015年5月	砂防学会誌(68巻1号)	原田紹臣・和田孝志・古谷智彦・中谷加奈・水山高久・里深好文	39-43	有
25	鈴木祥之	Three Effects of Mechanisms in Traditional Timber Structures	共著	2015年5月	Proc. of International Association for Bridge and Structural Engineering., IABSE Conference Nara 2015	Hideaki TANAHASHI, Yoshiyuki SUZUKI	1-10	有
26	鈴木祥之	顕し貫のある全面土塗り壁の復元力特性	共著	2015年6月	平成27年度日本建築学会近畿支部研究報告書	中治弘行、鈴木祥之	309-312	無
27	鈴木祥之	水合せ方法の異なる壁土の基礎実験	共著	2015年7月	日本建築学会北陸支部研究報告集、Vol.58	浦友憲親、後藤正美、鈴木祥之	1-4	無
28	鈴木祥之	飾り組子欄間の水平耐力に関する要素実験	共著	2015年7月	日本建築学会北陸支部研究報告集、Vol.58	中村友輔、須田達、棚橋秀光、鈴木祥之	21-24	無
29	鈴木祥之	伝統構法架構の復元力特性に及ぼす対角線効果	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9号)	棚橋秀光、岩本いづみ、鈴木祥之	101-108	有
30	鈴木祥之	顕しの貫がある土壁の復元力特性	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9号)	中治弘行、鈴木祥之	109-114	有
31	鈴木祥之	高山町家の構造的長を生かした耐震補強設計法の開発	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9号)	佐藤英佑、向坊恭介、鈴木祥之	115-122	有
32	鈴木祥之	実大実験による顕し貫土壁の復元力特性評価	共著	2015年9月	2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会研究発表梗概(C-1分冊巻)	中治弘行、鈴木祥之	317-318	無
33	鈴木祥之	飾り組子欄間の水平耐力に関する研究 その1 組子格子接合部の要素実験	共著	2015年9月	2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会研究発表梗概(C-1分冊巻)	中村友輔、須田達、棚橋秀光、鈴木祥之	455-446	無
34	鈴木祥之	飾り組子欄間の水平耐力に関する研究 その2 格子1ユニットの要素実験	共著	2015年9月	2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会研究発表梗概(C-1分冊巻)	須田達、中村友輔、棚橋秀光、鈴木祥之	457-448	無
35	鈴木祥之	木材の横圧縮のひずみ硬化がめり込みの塑性剛性に及ぼす影響	共著	2015年9月	2015年度日本建築学会大会(関東)学術講演会研究発表梗概(C-1分冊巻)	棚橋秀光、鈴木祥之	465-466	無

36	鈴木祥之	伝統的構法の楔の復元力特性に及ぼす効果	共著	2016年1月	日本地震工学会論文集、第16巻、第1号	棚橋秀光、大岡優、鈴木祥之	170-183	有
37	高橋 学	高雄のモミジと醍醐のサクラ『観光の地理学』	単著	2015	立命館大学地理学教室編	高橋 学	150-167	無
38	高橋 学	環境史からみた災害	単著	2016	都市問題 107、巻頭言1頁	高橋 学	1	無
39	高橋 学	環境史から信長の時代 I – 桶狭間の戦い –	単著	2016	立命館文学	高橋 学	325-189	無
40	武田史朗	京都市「ちびっこひろば」において実施した防災イベントを含む活動に対する近隣住民の評価構造	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集、9、	武田史朗・久保田貴大・山口純	159-166	有
41	武田史朗	ルーム・フォー・ザ・リバー・プログラムの概要と論点	単著	2015年7月	ランドスケープ研究(日本造園学会誌)、79-2	武田史朗	91-92	無
42	武田史朗	オランダの河川デザインと新しい地域デザインの探求	単著	2015年7月	ランドスケープ研究(日本造園学会誌)、79-2	武田史朗	105-106	無
43	大矢綾香	アユタヤ地域における洪水が仏塔の不同沈下に与える影響に関する研究	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9巻)	千々和詩織、大矢綾香、石田優子、豊田祐輔、藤本将光、深川良一	17-24	有
44	中谷友樹	Impact of neighborhood socioeconomic conditions on the risk of stroke in Japan	共著	2015年	Journal of Epidemiology (25巻3号)	Honjo K, Iso H, Nakaya T, Hanibuchi T, Ikeda A, Inoue M, Sawada N, Tsugane S, the JPHC Study Group	254-260	有
45	中谷友樹	地域在住自立高齢者における転倒リスクの関連要因とその性差: 亀岡スタディ	共著	2015年6月	日本公衆衛生雑誌(62巻8号)	榎本 妙子, 山田 陽介, 山田 実, 中谷 友樹, 三宅 基子, 渡邊裕也, 吉田 司, 横山慶一, 山縣 恵美, 伊達 平和, 南里 妃名子, 小松 光代, 吉中康子, 藤原 佳典, 岡山 寧子, 木村 みさか	390-401	有
46	中谷友樹	健康の社会格差と地域格差	共著	2016年1月	地理 61-1	中谷友樹・埴淵知哉	51-57	無
47	中谷友樹	放射型空間的相互作用モデルについて – 日本の流動データを利用したグラビティ・モデルとの比較	単著	2016年	立命館文学 64	中谷友樹	409-398	無
48	林 倫子	昭和前期から中期の滋賀県下における水害対応に関する研究	共著	2015年5月	土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集、Vol. 57、	野々村皓陽・林 倫子・金 度源・大窪健之	IV-56	無
49	深川良一	地盤情報を考慮した巨大地震時の盛土防災対策と防災点検における今後の課題	共著	2015年11月	Kansai Geo-Symposium 2015 論文集	鍋島康之、深川良一、遠藤信之、川下光仁、豊福恒平、南部啓太、藤原正明、福塚健次郎	209-214	有
50	深川良一	Failure Mechanism of True 2D Granular Flows		2015年	Journal of Chemical Engineering of Japan(48巻6号)	Cuong T. Nguyen, Ha H. Bui and R. Fukagawa	1-8	有
51	深川良一	Study of SPH simulation on face collapse behavior and effect of stabilization method around tunnel portal zone	共著	2015年11月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Tsutomu Matsuo, Kunio Mori, M. Sun, Ha Hong Bui and Ryoichi Fukagawa	430-435	有
52	藤本将光	Characteristics of groundwater movement at a hillslope above Kiyomizu-dera Temple, an important cultural asset	共著	2015年11月	Proc. of the 15th Asia Regional Conf. of ICSMFE	Masamitsu Fujimoto, Yuki Arimitsu, Nobutaka Hiraoka, Toru Danjyo, Toru Kimura, Yuko Ishida and Ryoichi Fukagawa	6 pages	有

53	藤本将光	Validation of deterrent effect of nailing sensor	共著	2015 年	16th Conference on Current Researches in Geotechnical Engineering	T. Danjo, K. Sako, N. Iwasa, M. Fujimoto and R. Fukagawa	6 pages	有
54	藤本将光	Influence of bedrock groundwater on streamflow characteristics in a volcanic catchment	共著	2016 年	Hydrological Processes Vol.30	Fujimoto M., Ohte N., Kawasaki M., Osaka K., Itoh M., Ohtsuka I., and M. Itoh	558-572	有
55	藤本将光	不飽和土における間隙空気圧の計測およびテンシオメータへの影響の検証	共著	2015 年	地盤工学ジャーナル (10 巻 1 号)	檀上徹・酒匂一成・藤本将光・深川良一・酒井直樹	81-92	有
56	藤本将光	道路路面における現地計測に基づいた道路規制基準の検討	共著	2015 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2015 論文集	渡邊義裕、藤本将光、小山倫史、小林猛嗣、徳永博、倉岡千郎、中井卓巳、丸木義文、安藤貴志、深川良一	177-180	有
57	福水洋平	画像認識のための回帰分析を用いた光量補正	共著	2015 年 9 月	電子情報通信学会技術報告, Vol.115, No.208, SIS2015-25	辻広生、福水洋平、道関隆国、山内寛紀、吉川歩		無
58	宗本晋作	津波被害を受けた集落における居住者の環境認知に関する研究 -岩手県宮古市鉾ヶ崎を対象として-	共著	2015 年 7 月	歴史都市防災論文集 VOL.9 pp167-174	岩瀬功樹,北本英里子,宗本晋作,山田悟史	8 頁	有
59	宗本晋作	神戸の震災による環境変化に対する地域住民の景観認知について	共著	2016 年 2 月	日本建築学会計画系論文集 81(720)pp357-367	北本 英里子,山田悟史,宗本晋作,大内宏友,及川清昭	10 頁	有
60	矢野桂司	地理空間情報が拓く未来の社会	単著	2015 年 4 月	人と国土 21(2015 巻 4 号)	矢野桂司	6-9	無
61	矢野桂司	「地図力/GIS 技能」をもって社会を変える人材育成に向けて	単著	2015 年 4 月	測量(2015 巻 4 号)	矢野桂司	6-7	無
62	矢野桂司	洛中洛外図屏風の WEB 閲覧システムの構築	共著	2015 年 12 月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 (情報処理学会シンポジウムシリーズ) (2015 巻 22 号)	奥窪宏太・山路正憲・今村聡・矢野桂司・西山剛・川嶋将生	37-42	有
63	矢野桂司	近代京都の歴史 GIS のための地理空間情報の整備	単著	2016 年 3 月	立命館文学(645 巻)	矢野桂司	255-273	無
64	矢野桂司	矢野 桂司「大規模京町家のアーカイブー京都市指定文化財長江家住宅を事例に一	共同	2016 年 3 月	住総研 2014-15 年度研究助成論文(1411 号)	主査 矢野桂司	121-132	有
65	吉越昭久	小野芳朗編著『水系都市 京都ー水インフラと都市拡張ー』思文閣出版、2015 年	単著	2015 年 10 月	人文地理、67 号第 5 号	吉越昭久	432-433	有
66	吉越昭久	谷岡武雄先生のご逝去を悼む	単著	2015 年 11 月	立命館地理学	吉越昭久	1-4	有
67	吉富信太	木造多層塔の振動計測データを利用した質量と剛性の同定手法	単著	2015 年 7 月	歴史都市防災論文集 (9 巻)	吉富 信太	89-92	有
68	吉富信太	石場建てを考慮した岐阜県高山市伝統構法建物の 3 次元地震応答解析	共著	2015 年 7 月	歴史都市防災論文集 (9 巻)	清水 一史, 村田晶, 吉富 信太, 向坊恭介	123-126	有
69	吉富信太	鉄鋼系工業化住宅における構造最適化に関する研究:ー遺伝的アルゴリズムに基づく実用的な構造部材最適配置法ー	共著	2015 年	日本建築学会構造系論文集(80 巻 714 号)	吉富信太, 中川大輔, 佐田貴浩	1347-1355	有
70	石田優子	Effects on slope failure from rainfall based on localized characteristics and numerical simulation at the Yokogaki-Tohge Pass	共著	2015 年 11 月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Yuko Ishida, Tsuyoshi Kibayashi, Tatsuo Konegawa, masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	475-480	有

71	石田優子	Sediment disaster risk evaluation with the use of slope stability analysis at Yokogaki-Tohge Pass	共著	2015年11月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Tsuyoshi Kibayashi, Yuko Ishida, Tatsuo Konegawa, Masamitsu Fujimoto, and Ryoichi Fukagawa	465-470	有
72	石田優子	INFLUENCE OF MEASURED AND ANALYSIS RAINFALLS ON SEEPAGE: NUMERICAL SIMULATION ON SLOPE AT THE YOKOGAKI-TOGE PASS	共著	2015年11月	Proceedings of Fifth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida, Tsuyoshi Kibayashi, Tatsuo Konegawa, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	475-480	有
73	石田優子	熊野参詣道における数値解析による斜面安定性評価のための地盤モデルに関する検討	共著	2015年11月	Kansai Geo-Symposium2015—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	石田優子、木林幹、古根川竜夫、藤本将光、深川良一	135-140	有
74	石田優子	STUDY ON INCLINATION OF PRANG AT AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2016年3月	Proceedings of the 6th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y. Ishida, S. Chijiwa, A. Oya, C. Denpaiboon, D. Rinchumphu, Y. Toyota, H. Kanegae, M. Fujimoto, R. Fukagawa	S2-5	無
75	石田優子	熊野参詣道における数値解析による斜面安定性評価のための地盤モデルに関する検討	共著	2015年	Kansai Geo-symposium 2015 論文集	石田優子・木林幹・古根川竜夫・藤本将光・深川良一	135-140	有
76	金度源	与謝野町加悦重伝建地区における消防水利整備の検討～初期消火における市民消火栓等の有効性評価～	共著	2015年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集(55号)	田口淳・金度源・大窪健之	397-400	無
77	金度源	地域防災研究拠点におけるICT技術の利活用に関する一提案	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9号)	崔青林・金度源・米島万有子・崔明姫・半田信之・李泰榮	273-278	無
78	金度源	東日本大震災に学ぶ歴史都市防災まちづくりに向けて第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム『歴史都市防災シンポジウム仙台』	共著	2015年7月	『歴史都市防災論文集』(9巻)	金度源・石田優子・崔明姫・米島万由子・板谷(牛谷)直子・大窪健之	279-286	無
79	金度源	重要伝統的建造物群保存地区における大字間の相互支援防災計画の検討方法に関する研究—兵庫県篠山市福住における住民防災ワークショップを通じて—	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9巻)	金度源・吉田暉・大窪健之・林倫子	175-182	有
80	崔明姫	2011年タイ洪水における世界遺産アユタヤの経済的復興過程の再現	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9巻)	崔明姫、I-soon Raungratanaamporn、酒井宏平、Siriluk Monkongkerd、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	151-158	有
81	崔明姫	2011年タイ洪水における世界遺産アユタヤの経済的復興過程の再現	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9巻)	崔明姫、Ranugratanaamporn I-soon、酒井宏平、Monkongkerd Siriluk、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	151-158	有
82	崔明姫	A Study on Economic Damage for Tourism in Kyoto City by Earthquake Disaster	共著	2015年12月	ASEAN Journal on Hospitality & Tourism(14巻2号)	Cui Mingji, Cui Qinglin, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	101-112	有
83	上杉昌也	建造環境と犯罪発生の関係に関する都市間比較—ジオデモグラフィクスを活用した小地域分析	共著	2015年10月	地理情報システム学会講演論文集(25巻)	上杉昌也・樋野公宏・矢野桂司	(CD-ROM)	無

84	平岡伸隆	Improved measurement of soil moisture using an ultrasonic waveguide to predict rainfall-induced slope failure	共著	2015 年	Japanese Journal of Applied Physics(54 巻)	Katsuhiko Tanaka, Nobutaka Hiraoka, Shunya Nakano, Takuma Kameda, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	1-5	有
85	山口純	歩行者の GPS ログから生成されたネットワークによる歩行環境のモデル化とそれに基づく行動分析 - 「てくペコチャレンジ」を事例として	共著	2015 年 11 月	環境情報科学学術研究論文集, 29 巻	山口純・武田史朗・赤池直樹	195-200	有
86	米島万有子	日本における Dengue 熱の流行リスクマップ	共著	2015 年 10 月	地理情報システム学会講演論文集 24(CD-ROM)	米島万有子・中谷友樹・詹 大千・二瓶直子・小林睦生	1-4.	無
87	米島万有子	マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題 - 「第 9 回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告 -	共著	2016 年 3 月	京都歴史災害研究, 第 17 号	米島万有子、金度源、稲村雄一郎、石田優子、崔明姫	55-61	無
88	赤澤史頭	足洗谷流域ヒル谷における天然ダム決壊に関する現地実験	共著	2015 年	砂防学会誌, Vol.67(6)	原田紹臣・赤澤史頭・速見智・柳崎剛・里深好文・藤本将光・堤大三・宮田秀介	41-48	有
89	赤澤史頭	粒径と流入流量が天然ダムの決壊過程と流出流量に及ぼす影響についての実験的研究	共著	2016 年 3 月	砂防学会誌(68 巻 6 号)	赤澤史頭・里深好文	42-46	有
90	大矢綾香	アユタヤ地域における洪水が仏塔の不同沈下を与える影響に関する研究	共著	2015 年 7 月	歴史都市防災論文集 (9 巻)	千々和詩織、大矢綾香、石田優子、豊田祐輔、藤本将光、深川良一	17-24	有
91	大矢綾香	Seepage flow-stability analysis of the riverbank of Saigon River due to river water level fluctuation	共著	2015 年	International Journal of GEOMATE(18 巻 1 号)	Oya A., Bui H.H., Hiraoka N., Fujimoto M., and R. Fukagawa	1212-1217	有
92	大矢綾香	Effect of rice straw length on mechanical properties of quick lime and rice husk ash stabilized soil	共著	2015 年 11 月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Ayaka Oya, Satoru Iida, Masamitsu Fujimoto, Ryoichi Fukagawa and Der-Her lee	159-164	有
93	酒井宏平	A Study on Evacuation Simulation for Guiding Tourists in Himeji Castle Based on a Survey of Tourists' Intention in Evacuation after Earthquake	共著	2015 年 12 月	ASEAN Journal on Hospitality & Tourism(14 巻 2 号)	Sakai Kohei, Honda Ayaka, Siriluk Mongkonkerd, Perera Sachi, Cui Mingji, Toyoda Yusuke, Taniguchi Hitoshi and Kanegae Hidehiko	137-150	有
94	酒井宏平	姫路城における大規模災害を想定した公助の観光客帰宅意図への影響に関する研究	共著	2015 年 7 月	歴史都市防災論文集 (9 巻)	酒井宏平、崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	135-142	有
95	佐藤弘隆	祇園祭における Beacon 情報発信の実証実験	共著	2015 年 12 月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集 (情報処理学会シンポジウムシリーズ) (2015 巻 22 号)	佐藤弘隆・矢野桂司・田中澄人	31-36	有
96	有光有紀	Characteristics of pore subsurface water movements in soil layers on the hillslope behind Kiyomizu Temple	共著	2015 年 11 月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and	Yuki Arimitsu, Masamitsu Fujimoto, Nobutaka Hiraoka, Toru Danjyo, Yuko Ishida and Ryoichi Fukagawa	459-464	有

					Environment			
97	有光悠紀	重要文化財後背斜面における比抵抗電気探査を用いた地下水帯の把握	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9巻)	檀上 徹、高倉伸一、有光悠紀、藤本将光、深川良一	9-16	有
98	有光悠紀	清水寺後背斜面における現地モニタリングの有用性の検討ー大規模降雨時の間隙水圧値と土壌雨量指数の比較ー	共著	2015年11月	Kansai Geo-Symposium 2015 論文集	有光悠紀、藤本将光、檀上徹、平岡伸隆、石田優子、深川良一	181-186	有
99	飯田悟	稲わらの配合比が改良土の力学特性に与える影響について	共著	2015年11月	Kansai Geo-Symposium 2015 論文集	飯田悟、大矢綾香、山戸貴嗣、藤本将光、深川良一	13-18	有
100	飯田哲也	室内実験を用いた大規模降雨時における土中水分の変動特性の把握に関する研究	共著	2015年11月	Kansai Geo-Symposium 2015 論文集	飯田哲也、藤本将光、小杉賢一朗、平岡伸隆、深川良一	157-160	有
101	飯田哲也	A method for judging the risk of slope failure based on precipitation and soil moisture characteristics	共著	2015年11月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Tetsuya Iida, Masamitsu Fujimoto, Nobuyuki Kumakura, Daisuke Takasaki, Nobutaka Hiraoka and Ryoichi Fukagawa	448-453	有
102	大和田知彦	火災シミュレーションによる火災リスク評価と水利整備方針に関する研究：兵庫県篠山市福住地区を対象として	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9号)	大和田知彦・大窪健之・金度源・林倫子	195-202	無
103	杉山貴教	清水寺周辺における帰宅困難観光客避難誘導計画の改善に関する研究ー避難シミュレーションを用いた検証を通してー	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(Vol.9巻)	杉山貴教・大窪健之・金度源・林倫子	127-134	有
104	角宏一	Effect of soil moisture conditions on seismic stability of embankment slope	共著	2015年11月	Proc. of the fifth Int. Conf. on Geotechnique, Construction, Materials and Environment	Koichi Sumi, Nobutaka Hiraoka, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	442-447	有
105	田中宏樹	東日本大震災における津波火災に対する社寺の防災拠点活用の実態に関する研究	共著	2015年5月	地域安全学会梗概集、No. 36、地域安全学会	田中宏樹・金度源・大窪健之・林倫子	3-6	無
106	吉田篤司	住民主体の防災計画実現に向けた活動項目の抽出と評価ー与謝野町加悦重伝建地区での防災ワークショップを通してー	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9号)	吉田篤司・大窪健之・金度源・林倫子	251-258	無
107	吉田恭祐	大規模災害に備えた大字間支援を活かした防災活動指針の提案ー兵庫県篠山市福住における住民防災ワークショップを通してー	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集(9号)	吉田恭祐・大窪健之・金度源・林倫子	265-272	無
108	赤石直美	WebGISを用いた戦後京都の記憶のアーカイブとその課題	共著	2015年10月	地理情報システム学会講演論文集	赤石直美、福島幸宏、矢野桂司	(CD-ROM)	無
109	青木和人	固定資産税路線価格における路線価格連続性の可視化	共著	2015年10月	地理情報システム学会講演論文集	青木 和人、武田 幸司、矢野 桂司	(CD-ROM)	無
110	埴淵知哉	近隣環境と健康関連 QOLー日本版総合的社会調査を用いた分析ー	共著	2015年6月	地理学評論(88巻6号)	埴淵知哉・中谷友樹・竹上未紗	591-606	有
111	埴淵知哉	Perceived and Objective Measures of Neighborhood Walkability and Physical Activity among Adults in	共著	2015年10月	International Journal of Environmental Research and Public Health(12巻10号)	Hanibuchi T, Nakaya T, Yonejima M, Honjo K	13350-13364	有

		Japan: A Multilevel Analysis of a Nationally Representative Sample						
--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳憲昌	「市内に残る歴史的建造物について、今後の保護対策や活用のための資料を得ることを目的に実態調査を行う」	2015年12月	環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大学地域交流フェスタ2015」	青柳憲昌・小西佐枝・草津市教育委員会文化財保護課
6	板谷（牛谷）直子	Lessons learnt from post disaster reconstruction of Minami-Sanriku-Cho damaged by 2011 East Japan Earthquake and Tsunami	2016年2月	Workshops on Post Earthquake Recovery of Cultural Heritage in Nepal	Naoko ITAYA
8	大窪健之	The Disaster Risk and Mitigation Potentiality of Historic Cities through the Experience of Nepal Gorkha Earthquake, and the Rome case study	2015年7月	Master internazionale di II livello in Restauro architettonico e cultura del patrimonio	Takeyuki Okubo
9	大窪健之	地理的条件と住民の認知が避難開始時間に与える影響に関する研究～高知県室戸市吉良川伝統的建造物群保存地区を対象として～	2015年5月	平成27年度土木学会関西支部年次学術講演会	住谷喜信・大窪健之・金度源
10	大窪健之	文化遺産を火災から守る消防設備の老朽化と耐震面の課題に関する研究：京都府・滋賀県の重要文化財・国宝建造物を対象として	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	湯浅卓・大窪健之・金度源・林倫子
11	大窪健之	地域防災力を高める市民消火栓の継続的な日常利用促進に関する研究－高機能型消火栓の開発と設置環境に即した利用方法の提案に着目して－	2015年7月	歴史都市防災論文集、Vol.9、pp.215-222	中村圭佑・大窪健之・金度源・林倫子
12	小川圭一	外国人観光客を対象とした京都市における観光資源としての文化遺産の評価	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一、漆谷友香、安隆浩
14	豊田祐輔	A Challenge of Problem-Based Learning in Gaming Simulation for Promoting Community Resilience	2015年11月	ALARA 9th Action Learning Action Research and 13th Participatory Action Research World Congress	Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae, Kohei Sakai
16	里深 好文	天然ダムの越流侵食 (Keynote Lecture)	2015年6月	第6回国際土石流災害防止会議	里深 好文
17	里深好文	山地源頭部における溪流堆積土砂の水分動態 1とその流出過程に関する研究	2015年	平成27年度砂防学会研究発表会	速見智・里深好文・藤本将光・堤大三
22	豊田祐輔	A Prototype of Community Cooperation Game: A Simulation Game of Community Based Flood Disaster Management	2015年7月	The 46th ISAGA Annual Conference: Hybrid Simulation & Gaming in the Network Society	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke
23	豊田祐輔	三重県志摩市における住民の災害対策からみたレジリエンス	2015年10月	日本地域学会第52回年次大会学術発表論文集	豊田祐輔*、崔明姫

24	豊田祐輔	A Case Study on Action Learning with Problem-Based Learning in Gaming Simulation for Promoting Community Resilience	2015年11月	9th Action Learning Action Research and 13th Participatory Action Research World Congress	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei, and Kanegae Hidehiko
26	中谷友樹	Constructing potential habitat maps of vector mosquitoes in the eastern coast of Lake Biwa, Japan.	9 July 2015	16th International Medical Geography Symposium, Simon Fraser University, Vancouver campus, Vancouver, B.C. Canada.	Nakaya, T.
27	中谷友樹	Detecting spatial clusters of anomalous associations: a local test for disease associative mapping	11 Sep. 2015	Università di Firenze, Florence, Italy	Nakaya T, Ito Y, Ioka A and Nakayama T
28	中谷友樹	南海トラフ地震発生時における津波による文化財被災リスク評価	2015年11月4日	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎新聞文化ホール、長崎市	榎本妙子・山田陽介・渡邊裕也・山縣恵美・吉田司・横山慶一・三宅基子・吉中康子・高田和子・石原達朗・海老根直之・山田実・中谷友樹・岡山寧子・木村みさか
29	中谷友樹	JGSS 累積データからみた健康格差の推移	2015年11月4日	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎新聞文化ホール、長崎市	伊藤ゆり・中谷友樹・近藤尚己・福井敬祐・中田佳世・井岡亜希子・宮代勲・中山富雄
30	中谷友樹	大阪府におけるがん進行度別罹患率の社会経済格差:1993-2004年における格差の変化	2015年11月4日	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎新聞文化ホール、長崎市	富岡慎一・藤野善久・中谷友樹・久保達彦・松田晋哉
31	中谷友樹	患者居住地域のSES及び精神疾患の有無が入院中に患者が受療する医療行為に与える影響についての解析	2015年11月4日	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎新聞文化ホール、長崎市	查凌・喜多村祐里・島正之・車谷典男・中谷友樹・郷司純子・祖父江友孝
32	中谷友樹	大規模石綿工場周辺住民における全死因および中皮腫の標準化死亡比 (SMR)	2015年12月12日	貧困研究会第8回研究大会シンポジウム「地域が抱える健康・貧困リスク問題への学術的視点」、九州大学箱崎キャンパス	中谷友樹
33	中谷友樹	健康リスクの社会格差と地域格差	2015年12月6日	日本性感染症学会、東京	中瀬克己、中谷友樹、川畑拓也、中島一敏、神谷信行、杉下由行、高野つる代、尾本由美子、山内昭則、高橋裕明、櫻原摩紀、山岸拓也、白井千香
34	中谷友樹	England と比較した我が国の性感染症サーベイランスの特徴	2016年	第29回公衆衛生情報研究協議会研究会、東京	高野つる代、中谷友樹、細井舞子、尾本由美子、川畑拓也、砂川富正、中瀬克己
35	中谷友樹	2010年国勢調査における「不詳」の地図	2016年2月22日	学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム・プログラムサロン(第7回)エビデンスに基づいた政策形成へ:医療における試み、政策研究大学院大学(GRIPS)	中谷友樹・安本晋也
36	林倫子	昭和前期から中期の滋賀県下における水害対応に関する研究	2015年5月	平成27年度土木学会関西支部年次学術講演会	野々山皓陽・林倫子・金度源・大窪健之
37	藤本将光	2014年8月の豪雨により兵庫県丹波市で発生した斜面崩壊	2015年	平成27年度砂防学会研究発表会	鏡原聖史・藤本将光・平岡伸隆・松村和樹・宮城昭博・加藤智久
38	藤本将光	2014年8月の豪雨により兵庫県丹波市で発生した崩壊の分布と降雨特性	2015年	平成27年度砂防学会研究発表会	岡野和行・松村和樹・藤本将光・笠原拓造・鈴木崇
39	藤本将光	現地モニタリングに基づいた道路規制基準の検討	2015年	平成27年度土木学会・全国大会	渡邊義裕・藤本将光・小山倫史・徳永博・小林猛嗣
40	藤本将光	国道沿い斜面を対象とした数値解析と実効雨量を組み合わせた雨量通行規制基準の提案	2015年	平成27年度土木学会・全国大会	小山倫史・藤本将光・徳永博・小林猛嗣・丸木義文

41	藤本将光	Characteristics of groundwater movement at a hillslope above Kiyomizu-dera Temple, and important cultural asset	2015 年	Proceedings of the 5 th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Fujimoto M., Arimitsu Y., Hiraoka N., Danjo T., Kimura T., and R. Fukagawa
42	藤本将光	花岡岩山地における基岩地下水の流動特性が降雨流出に及ぼす影響	2015 年	平成 27 年度砂防学会研究発表会	杉本康平・小林賢一朗・糸数哲・正岡直也・藤本将光・水山高久
44	矢野桂司	バーチャル京都で時空散歩	2015 年 6 月	岐阜県古地図文化研究会	矢野桂司
45	矢野桂司	歴史 GIS の新たな展開	2015 年 10 月	第 4 回空間情報エグゼクティブセミナー	矢野桂司
46	矢野桂司	一般社団法人地理情報システム学会	2016 年 1 月	学術フォーラム	
47	矢野桂司	Introduction of the ARC's Research Projects Using GIS	2016 年 1 月	Towards International Collaboration among Centers for East Asian and Japanese Studies	Keiji Yano
48	矢野桂司	ジオデモグラフィックスとは？	2016 年 2 月	Mosaic カンファレンス 2016	矢野桂司
49	矢野桂司	ジオデザインー人口減少社会のまちづくり	2016 年 3 月	日本地理学会春季学術大会	矢野桂司
50	矢野桂司	Geo-spatial information in Virtual Kyoto: Collaboration with museums and local governments	2016 年 3 月	Japanese Cultural Assets and Digitalization	Keiji Yano
55	石田優子	アユタヤ地域における洪水が仏塔の不同沈下に与える影響に関する研究	2015 年 7 月	歴史都市防災シンポジウム	千々和詩織
56	石田優子	平成 23 年台風 12 号により発生した和歌山県東牟婁地域の斜面崩壊の特徴	2015 年 9 月	第 50 回地盤工学研究発表会	藤井翔太郎
57	石田優子	平成 23 年台風 12 号により発生した和歌山県日高・西牟婁地域における大規模斜面崩壊の特徴	2015 年 9 月	第 50 回地盤工学研究発表会	矢野晴彦
58	石田優子	平成 23 年台風 12 号による和歌山県内で発生した大規模斜面崩壊の地質背景	2015 年 9 月	平成 27 年度 日本応用地質学会研究発表会	矢野晴彦
59	石田優子	熊野参詣道における数値解析による斜面安定性評価のための地盤モデルに関する検討	2015 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2015 -地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム-	石田優子
60	石田優子	清水寺後背斜面における現地モニタリングの有用性の検討 -大規模降雨時の間隙水圧値と土壌雨量指数の比較-	2015 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 2015 -地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム-	有光悠紀
61	石田優子	INFLUENCE OF MEASURED AND ANALYSIS RAINFALLS ON SEEPAGE: NUMERICAL SIMULATION ON SLOPE AT THE YOKOGAKI-TOGE PASS	2015 年 11 月	Fifth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida
62	石田優子	SEDIMENT DISASTER RISK EVALUATION WITH THE USE OF SLOPE STABILITY ANALYSIS AT	2015 年 11 月	Fifth International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Tsuyoshi Kibayashi

		YOKOGAKI-TOGE PASS			
63	石田優子	STUDY ON INCLINATION OF PRANG AT AYUTTHAYA, THAILAND	2016年3月	The 6th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Yuko Ishida
64	石田優子	世界遺産「熊野古道（横垣峠）」の崩壊地・非崩壊地における多点雨量観測	2015年	平成27年度砂防学会研究発表会	石田優子・藤本将光他
65	石田優子	三重県熊野古道「横垣峠」における感度分析を用いた安定解析に関する研究	2015年	平成27年度土木学会関西支部	木林幹・石田優子・藤本将光・深川良一
66	石田優子	三重県熊野古道「横垣峠」における斜面崩壊の素因と誘因に関する考察	2015年	第50回地盤工学研究会	石田優子・佐田浩介・木林幹・古根川竜夫・酒井俊典・岡島賢治・藤本将光・深川良一
67	石田優子	熊野古道「横垣峠」における崩壊時の地下水位推定	2015年	第50回地盤工学研究会	木林幹・石田優子・古根川竜夫・酒井俊典・岡島賢治・藤本将光・深川良一
68	金度源	重要伝統的建造物群保存地区における大字間の相互支援防災計画の検討方法に関する研究～兵庫県篠山市福住における住民防災ワークショップを通して～	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	金度源・吉田暉・大窪健之・林倫子
69	金度源	東日本大震災に学ぶ歴史都市防災まちづくりに向けて、第3回国連防災世界会議 パブリックフォーラム「歴史都市防災シンポジウム仙台」	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	金度源・石田優子・崔明姫・米島万有子・板谷直子（牛谷直子）・大窪健之
70	金度源	地域防災研究拠点におけるICT技術の利活用に関する一提案	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	崔青林・金度源・米島万有子・崔明姫・半田信之・李泰榮
71	金度源	与謝野町加悦重伝建地区における消防水利整備の検討～初期消火における市民消火栓等の有効性評価～	2015年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集、第55号・計画系	田口淳・金度源・大窪健之
77	上杉昌也	ジオデモグラフィクスからみる教育地域格差	2015年11月	2015年人文地理学会大会	上杉昌也・矢野桂司
78	上杉昌也	個人の交通行動と建造環境の関係に関するジオデモグラフィクス分析	2016年3月	日本地理学会春季学術大会	上杉昌也・矢野桂司
82	山口純	ネットワークバッファを用いた道路連結性の評価手法の提案	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山口純・武田史朗・安田優
83	山口純	VR空間における指示代名詞による3次元空間の領域文節に空間の「限定性」が与える影響	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	佐藤建・山口純・武田史朗
84	山口純	歩行意欲および歩行実績に近隣環境条件が与える影響に関する研究-草津市野路地及び野路東を対象として-	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	正木亨・山口純・武田史朗
85	米島万有子	Neighbourhood walkability and physical activity among Japanese adults: Multilevel analysis of a nationally representative sample	7 July 2015	16th International Medical Geography Symposium, Simon Fraser University, Vancouver campus, Vancouver, B.C. Canada.	Yonejima M, Nakaya T, Watanabe M, Nihei N, Tsuda Y, Kobayashi M.

86	米島万有子	Modelling geographic disparities of relative cancer survival at the neighbourhood level in Osaka prefecture, Japan, GEOMED 2015	5 Nov. 2015	KAGIS Fall Conference 2015 & International Symposium on GIS, 慶釜大学, 釜山	Yonejima, M., Nakaya, T., Chan, Ta-Chien, Nihei, N., Kobayashi, M.
87	米島万有子	Risk mapping of dengue fever outbreaks in Japan,	2015年10月11日	地理情報システム学会第24回学術研究発表大会、慶應大学、東京	米島万有子・中谷友樹・詹大千・二瓶直子・小林睦生
88	米島万有子	日本における Dengue 熱の流行リスクマップ	2015年9月18日	2015年日本地理学会秋季学術大会、愛媛大学、松山	米島万有子・中谷友樹・渡辺護・二瓶直子・津田良夫・小林睦生
89	米島万有子	地方感染症情報センターにおける STI サーベイランスの運用の現状	2015年11月27日	アライグマシンポジウム2015「拡大する外来アライグマ：日本とヨーロッパ」立命館大学歴史都市防災研究所	米島万有子・中谷友樹
90	尾崎 正志	草津市のオープンデータ推進とその活用方法	2015年10月	第24回 GISA 学術研究発表大会	尾崎 正志, 矢野 桂司
91	谷端 郷	アライグマの社寺侵入被害と周辺環境との関連性	2016年3月21日	日本地理学会春季学術大会、早稲田大学	谷端 郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一
92	大矢綾香	水位変動の繰り返しを考慮したサイゴン川河岸斜面の浸透・安定連成解析	2015年	第50回地盤工学研究会	大矢綾香・平岡伸隆・飯田悟・藤本将光・深川良一
93	大矢綾香	Effect of the cyclic water level fluctuation of saigon river on the riverbank stability	2015年	Proceedings of the 5th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Oya A., Hiraoka N., Iida S., Fujimoto M., and R. Fukagawa
94	大矢綾香	サイゴン川の水位変動による河岸斜面の崩壊挙動に関する研究	2015年	平成27年度砂防学会研究発表会	大矢綾香・平岡伸隆・飯田悟・藤本将光・深川良一
95	酒井宏平	A Study on Effects of "Fundamental Competencies for Working Persons" on Understanding Conservation of Historic Cities through Problem Based Learning	2015年7月	the 46th ISAGA conference on "Hybrid Simulation & Gaming in the Network Society"	Kohei Sakai, Ayaka Honda, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
96	酒井宏平	地域防災計画における観光客対策に関する研究：姫路城観光客を対象にした実態調査に基づいて	2015年10月	日本地域学会第52回年次大会	酒井宏平、崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
97	酒井宏平	A Study on the Effectiveness of Action Learning Workshop from the Perspective of "Fundamental Competencies for Working Persons"	2015年11月	ALARA 9th Action Learning Action Research and 13th Participatory Action Research World Congress	Kohei Sakai, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
98	酒井宏平	A Study on Public Supports in Tourism areas after Large Scale Earthquakes -From the viewpoints of tourists' needs and Intentions to get home -	2015年11月	The 6th International Conference on Sustainable Future for Human Security (SUSTAIN) 2015, "Sustainable Development and Global Change"	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
99	酒井宏平	観光地域における避難所運営の政策検証のためのABSモデルの開発に関する研究	2016年3月	計測自動制御学会システム・情報部門、第10回社会システム部会研究会	酒井宏平、崔青林、鐘ヶ江秀彦

101	有光悠紀	清水寺後背斜面における地盤内間隙水圧の変動特性把握に関する研究	2015年	平成27年度土木学会関西支部	有光悠紀・藤本将光・平岡伸隆・檀上徹・深川良一
107	大和田知彦	火災シミュレーションによる火災リスク評価と水利整備方針に関する研究—兵庫県篠山市福住地区を対象として—、pp.195-202、2015年7月	2015年7月	歴史都市防災論文集、Vol.9、pp.195-202	大和田知彦・大窪健之・金度源・林倫子
108	杉山貴教	清水寺周辺における帰宅困難観光客避難誘導計画の改善に関する研究：避難シミュレーションを用いた検証を通して	2015年7月	第9回歴史都市防災シンポジウム @立命館大学衣笠キャンパス	杉山貴教・大窪健之・金度源・林倫子
109	角宏一	先行降雨が盛土斜面の耐震性に及ぼす影響に関する実験的考察	2015年	平成27年度土木学会関西支部	角宏一・平岡伸隆・藤本将光・深川良一
110	前田一馬	琵琶湖東沿岸地域における感染症媒介蚊の生息ポテンシャルマップの検証	2015年9月18-19日	2015年日本地理学会秋季学術大会、愛媛大学	前田一馬・中谷友樹・永田彰平
111	吉田篤司	住民主体の防災計画実現に向けた活動項目の抽出と評価—与謝野町加悦重伝建地区での防災ワークショップを通して—	2015年7月	歴史都市防災論文集（報告）、Vol.9、pp.251-258	吉田篤司・大窪健之・金度源・林倫子
112	吉田恭祐	大規模災害に備えた大字間支援を活かした防災活動指針の提案—兵庫県篠山市福住重伝建地区における住民防災ワークショップを通して—	2015年7月	歴史都市防災論文集（報告）、Vol.9、pp.265-272	吉田恭祐・大窪健之・金度源・林倫子
113	埴淵知哉	「記憶地図」を活用した被災地における地域文化の継承に向けて—南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	6 July 2015	16th International Medical Geography Symposium, Simon Fraser University, Vancouver campus, Vancouver, B.C. Canada	Hanibuchi T, Nakaya T, Yonejima M, Honjo K.
114	埴淵知哉	地域在住自立高齢者の転倒リスクと体力との関連	2015年11月4日	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎新聞文化ホール、長崎市	埴淵知哉・中谷友樹・本庄かおり
115	埴淵知哉	公園の配分における環境正義の分析—客観的および認知的な近接性と地理的剥奪指標の関係	2016年3月21日	日本地理学会春季学術大会、早稲田大学	埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖
116	埴淵知哉	地理情報システム（GIS）を用いた感染症流行の地理的視覚化・空間的モデリング	6 July 2015	16th International Medical Geography Symposium, Simon Fraser University, Vancouver campus, Vancouver, B.C. Canada	Hanibuchi T, Nakaya T, Yonejima M, Honjo K.
117	安本晋也	大規模災害時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	2016年3月21日	日本地理学会春季学術大会、2016年3月21日、早稲田大学	安本晋也・中谷友樹

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第9回歴史都市防災シンポジウム	衣笠キャンパス	2015年7月	140名	

2	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修 2015	衣笠キャンパス、清水寺、仁和寺、産寧坂、南三陸、神戸	2015年9月	70名	
3	第9回地域の安全安心マップコンテスト	衣笠キャンパス	2015年8月～10月	122名	協賛：NTT西日本京都支店、株式会社バスコ、日本ミクニヤ株式会社、Fレントリース株式会社、株式会社帝国書院、第一通商株式会社、まいにち株式会社、株式会社ネスト・ジャパン、NPO法人災害ボランティアステーション日本（順不同） 後援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、人文地理学会、立命館地理学会、NPO災害から文化財を守る会（順不同）
4	第1回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年4月	25名	
5	第2回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年5月	23名	
6	第3回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年6月	22名	
7	第4回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年10月	20名	
8	第5回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2015年11月	18名	
9	第6回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2016年1月	23名	
10	第7回定例研究会	キャンパスプラザ京都	2016年3月	33名	
11	アライグマシンポジウム 2015 「拡大する外来アライグマ：日本とヨーロッパ」	衣笠キャンパス	2015年11月	30名	主催：関西野生生物研究所、立命館大学歴史都市防災研究所 後援：生物多様性 JAPAN

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	大窪健之	講演（英語）「歴史都市防災研究所の活動概要と清水周辺地域における防災水利整備事業の紹介」	タマサート大学（タイ）・リーダーシップ・プログラム（TLP）訪問団、立命館大学・末川記念館	2015年10月5日
2	大窪健之	Workshop for Disaster Mitigation in Patan, Nepal	Kathmandu, Nepal	2015年12月6日
3	鈴木祥之	講演「伝統構法木造建築物の構造的特長－伝統の美と知恵について」	京都造形芸術大学木造伝統工法国際デザインシンポジウム「日本の伝統木造建築の可能性」、会場：京都造形芸術大学至誠館 S11 教室	2015年3月11日
4	鈴木祥之	高山市伝統構法木造建築物耐震診断及び補強設計実務者養成セミナー	場所：高山市役所、主催：飛騨高山伝統構法木造建築物研究会	2015年4月11日
5	鈴木祥之	講演「伝統的建造物群保存地区の防災と耐震改修」	京都府建築工業協同組合研修会第1回設計施工ワーク、会場：ハートピア京都、主催：京都府建築工業協同組合・京都商工会議所	2015年6月29日
6	高橋学	講演「環境史・開発史・災害史」	志段味地区防災講演会、サイエンスパーク	2015年5月25日
7	高橋学	講演「災害で死なないために」	伊丹市防災講演会 ラスターホール	2015年5月27日
8	高橋学	講演「人はどこで死ぬか－災害発生メカニズムから－」	兵庫県立考古博物館	2015年5月30日
9	高橋学	講演「環太平洋における災害」	立命館大学土曜講座 末川会館	2015年6月13日
10	高橋学	講演「環境史からみた都市と災害」	三菱モルガンスタンレー証券講演会	2015年6月23日
11	高橋学	講演「大災害の時代を生きぬく－地震・津波・火山噴火－」	宮城県校友会	2015年7月20日
12	高橋学	講演「環境史からみた災害と岡山」	岡山市市民ホール	2016年1月30日

13	豊田祐輔	自分の身を守る行動を知る（午後の部：白川会場）	茨木市危機管理課主催「水害研修」、 白川公民館（大阪府茨木市）	2015年7月5日
14	豊田祐輔	自分の身を守る行動を知る（午前の部：玉島会場）	茨木市危機管理課主催「水害研修」、 玉島公民館（大阪府茨木市）	2015年7月5日
15	豊田祐輔	京都における自然災害と今後の課題	立命館大学歴史都市防災研究所、 （京都市）北自衛消防隊連絡協議会研修会	2015年8月7日
16	豊田祐輔	大学と地域コミュニティによる防災まちづくり	立命館大学衣笠キャンパス、京都市、立命館大学サービスラーニングセンター、立命館大学ボランティア・サービスラーニング（VSL）研究会、	2015年9月18日
17	豊田祐輔	災害に備えるために	左京区民生児童委員会高齢福祉専門部会研修会、 左京区民生児童委員会、京都市左京区役所	2015年9月25日
18	豊田祐輔	グラッときたら（まずなにをすべきか）	ふしぎく防災チーム研修会、（伏見区） ふしぎく防災チーム、京都市伏見区役所、京都市	2015年9月27日
19	豊田祐輔	立命館大学歴史都市防災研究所の研究紹介	立命館大学歴史都市防災研究所、京都市、防災関連用品マーケティング交流会、第3回 防災関係用品マーケティング交流会	2015年10月2日
20	豊田祐輔	International PBL Seminar @ College of Policy Science-RU	Global PBL for Innovative Mind and Intelligence -Re-Inventing Japan Project and AIMS Program-” Osaka Ibaraki Campus, Ritsumeikan University, Ibaraki City	2015年10月15日
21	豊田祐輔	ToT Linkage-Japan 2015: Indonesia Public Policy Program Fifth Session (Training at Ritsumeikan University)	ToT (Training of Trainers) Linkage-Japan 2015 under the Professional Human Resource Development IV (PHRD-IV) (Indonesia Public Policy Program Fifth Session), Osaka Ibaraki Campus, Ritsumeikan University, Ibaraki City	2015年11月30日
22	豊田祐輔	Disaster Risk Reduction and Policy Science	13th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Aras in Osaka and Kyoto, Ritsumeikan University, in Osaka, Japan,	2015年12月16日
23	豊田祐輔	防災（災害）に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	『平成27年度 せつつ生涯学習大学院生涯学習リーダー養成講座①』撰津市	2016年1月7日
24	豊田祐輔	「地域防災のこれからを見据えて」	（京都市）新京極商店街振興組合『防災を考えるセミナー』新京極商店街内 WITHYOU、京都市	2016年1月22日
25	豊田祐輔	防災まちづくりにみる生涯学習ーアクションラーニングに着目してー	『撰津市生涯学習合同研修会』撰津市	2016年2月17日
26	中谷友樹	講演「文化遺産防災における地理空間情報の活用」	国際会議「文化財防災体制についての国際比較研究」、神戸大学人文学部	2015年10月23日
27	中谷友樹	講演「GISを利用した健康づくり支援環境研究の推進」	シンポジウム：病院を中心とする街づくりーまちなか集積医療の提言ー、東京医科歯科大学	2015年10月3日
28	中谷友樹	講演「時空間地図から性犯罪の特徴を知る：京都市内で認知された強姦・強制わいせつ事件を対象に」	子どもと女性を守るシンポジウム：調査研究に基づく新たな性犯罪対策、国立京都国際会館	2015年11月16日
29	中谷友樹	講演「犯罪を地図から考えるー京都の事例を中心にー」	第3156回立命館大学土曜講座、立命館大学末川記念会館	2016年2月20日
30	中谷友樹	講演「文化遺産防災における地理空間情報の活用」	国際会議「文化財防災体制についての国際比較研究」、神戸大学人文学部	2015年10月23日
31	石田優子	（講演）防災講演会：平成23年台風12号で何が起きたのか！2015ー紀伊半島大水害の記録を伝えていくー	和歌山県那智勝浦町体育文化会館	2015年12月13日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	青柳憲昌	日本建築学会	日本建築学会著作賞		2015年5月
2	青柳憲昌	環びわ湖大学・地域コンソーシアム	活動奨励賞		2015年12月
3	中谷友樹	地理情報システム学会	地理情報システム学会第24回学術研究発表大会ポスターセッション賞	日本における Dengue 熱の流行リスクマップ	2015年10月
4	吉越昭久	日本水文学会	学会賞（功績賞）		2015年10月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	青柳憲昌	世界遺産バッファゾーンの「文化遺産共生地域」としての整備モデル構築のための研究	基盤研究B	2013年4月	2016年3月	研究分担者
2	板谷(牛谷)直子	地域の文化遺産が被災後の復興に果たす役割に関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
3	板谷(牛谷)直子	世界遺産バッファゾーンの「文化遺産共生地域」としての整備モデル構築のための研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	研究分担者
4	伊津野和幸	津波や洪水など橋梁の水害に対する安全性向上対策に関する研究	基盤研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
5	大窪健之	社寺等地域遺産の震災被災者支援拠点としての活用実態と計画指針に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2016年3月	代表
6	武田史朗	住宅地内における小規模民有広場の地域住民による自主管理及び運営モデルの構築	基盤研究(C)	2015年4月	2017年3月	代表
7	塚口博司	『迷い行動』の分析に基づいた歩行者サインシステムの高度化に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2016年3月	代表
8	豊田祐輔	災害対策に対する地域住民受容解の探索を目指した意思決定手法の開発	研究活動スタート支援	2013年8月	2015年3月	代表
9	中谷友樹	地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の分析	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
10	中谷友樹	多角的な地域特性からみた近隣健康格差とその動態解析	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	代表
11	藤本将光	豪雨時における斜面水文プロセスの把握に基づいた斜面表層崩壊の発生機構の解明	若手研究(B)	2015年4月	2017年3月	代表
12	山内寛紀	防犯カメラ映像の映像改善と異同識別技術革新により犯罪捜査を加速する研究	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
13	山崎有恒	近代日本の植民地における自然災害と防災についての研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
14	吉富信太	動的縮約モデルを用いた柔床・多構面モデルの非線形システム同定法	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
15	石田優子	「道」という形態の世界遺産における斜面災害避災システムの構築	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
16	金度源	社寺等地域遺産の震災被災者支援拠点としての活用実態と計画指針に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	青柳憲昌	「高山市史編纂に係る建造物調査」	高山市教育委員会文化財保護課	2015年4月	2016年3月	研究代表者
2	青柳憲昌	「未指定文化財調査事業 歴史的建造物調査」	草津市教育委員会文化財保護課	2015年4月	2016年3月	研究代表者
3	伊津野和行	「市内に残る歴史的建造物について、今後の保護対策や活用のための資料を得ることを目的に実態調査を行う」	「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」大学地域連携課題解決支援事業	2015年4月	2016年3月	研究分担者
4	土岐憲三	UNESCO Chair「文化遺産と危機管理」国際研修の拡充と研修後のフォローアップ	トヨタ財団イニシアティブプログラム	2014年4月	2017年3月	代表
5	豊田祐輔	ゲーミング・シミュレーションによるレジリエントな都市の探求に関する研究	財団法人科学技術融合振興財団調査研究助成	2014年2月	2016年2月	代表
6	豊田祐輔	世界文化遺産・姫路城における観光客の避難・帰宅システムの開発に関する研究	姫路市連携大学フィールドワーク支援事業	2014年6月	2016年2月	代表
7	豊田祐輔	地震津波災害を中心とした防災に関する共同調査と研究	志摩市官学連携研究助成事業	2014年6月	2016年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	地域防災情報システム			特願 2015- 154886			日本
2	深川良一	弾性体を利用した孔内 載荷試験装置					特許第 2571419 号	
3	藤本将光	土壌水量を用いた斜面 崩壊危険度の簡易判定 手法	本学共同		2015- 102216			